

伊集院保健所感染症情報

2023年第39週（令和5年9月25日～令和5年10月1日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症



・インフルエンザの増加が続いています。基本的な感染対策（換気、手指消毒、咳エチケット、混雑した場面や重症化リスクがある方と接触する際のマスク着用、共用部分の消毒等）をもう一度確認しましょう。**高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、体調を整えて感染予防を心がけましょう。**



・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が5週連続増加しています。手洗いや手指消毒に努めましょう。

定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第36週	第37週	第38週	第39週	先週からの増減	第38週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	1.00	1.60	2.00	7.20	↗	5.31	↘
COVID-19	-	-	-	15.20	19.60	9.40	13.20	↗	12.58	↘
咽頭結膜熱	3	1	-	0.00	0.00	0.33	0.33	→	0.63	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	1.33	1.67	2.00	3.00	↗	0.67	↘
感染性胃腸炎	20	12	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	2.92	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
手足口病	5	2	-	1.33	1.67	0.33	0.33	→	1.31	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	→
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.33	0.00	0.33	↗	0.13	↘
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.54	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
R S ウイルス感染症	-	-	-	2.33	2.33	1.00	0.33	↘	0.29	↘
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
COVID-19入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			該当なし							

COVID-19 の入院患者の発生動向や重症化の傾向を経時的に把握することを目的に、基幹定点での COVID-19 入院サーベイランスが始まりました。

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC COVID-19 に関する治療薬と入院費の公費支援について

10月1日からの新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援の取扱いは、以下のように変わります。

- ・入院費は、高額療養費制度の自己負担限度額から原則2万円の減額が1万円の減額に変わります。
- ・治療薬（ラゲブリオ、パキロビッド、ゾコーバ、ベクルリー）の費用は、全額公費負担から医療費の自己負担割合に応じた窓口での自己負担（3割の方は9,000円、2割の方は6,000円、1割の方は3,000円）に変わります。
- ・その他の診療料や処方料、検査料などの医療費については、5類感染症に移行した令和5年5月8日以降と同様、窓口での負担があります。

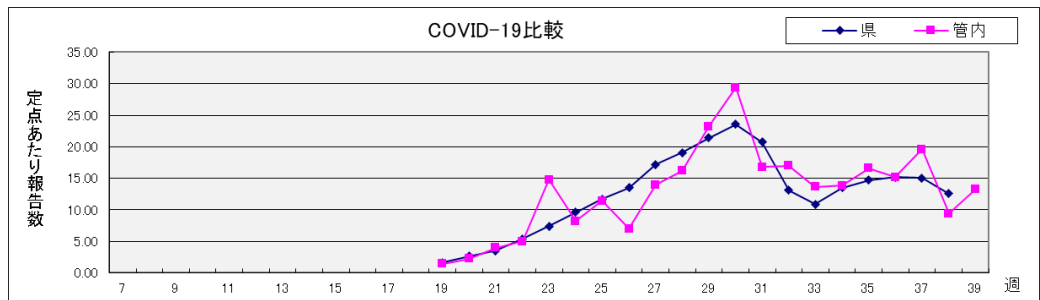
詳しくは鹿児島県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の令和5年10月以降の公費支援について」でご確認ください。



● 注意すべき感染症

・COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

今週の伊集院保健所管内におけるCOVID-19の報告数は、前週の47人（定点あたり9.40）から19人多い66人（13.20）でし

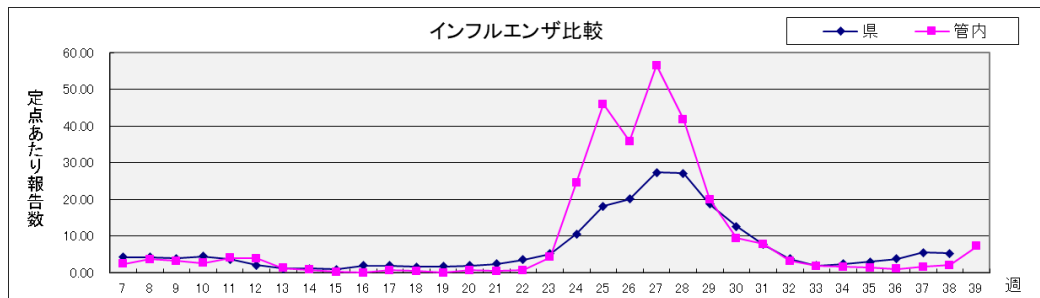


た。年齢別では、10～14歳（15人）、70～79歳・80歳以上（各7人）、60～69歳（6人）の順で多い報告でした。

★**新型コロナ療養の目安**：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から5日を経過し、かつ症状が軽快して24時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から10日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

・インフルエンザ

今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の10人（定点あたり2.00）から26人多い36人（定点あたり7.20）



でした。年齢別では、3歳・10～14歳（各7人）、7歳（4人）、8歳・15～19歳（各3人）の順に多い報告でした。

小児ではまれに急性脳症を、御高齢の方や免疫力の低下している方では二次性の肺炎を伴うなど重症になることがあります、それぞれ注意が必要です。

★**インフルエンザ罹患後の登校基準**：発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過してから（学校保健安全法）。

○学校における感染症による出席停止の状況9/25～10/1

（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

先週に比べてインフルエンザは増加、新型コロナ感染症は減少しています。その他に、咽頭結膜熱、溶連菌感染症が報告されています。また、インフルエンザによる学級閉鎖が中学校と高校で1校ずつ報告されています。

自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	咽頭結膜熱	溶連菌感染症	新型コロナ感染症
日置市	18	3	1	1	27
いちき串木野市	0	0	0	0	5
三島村	0	0	0	0	1
十島村	0	0	0	0	0
計	18	3	1	1	33

感染症対策

- ・せきなどの症状があるときは、人混みへ行くことを控え、人と会う時にはマスクを着用しましょう。
- ・発熱や咳など、何かしらの症状があるときには、高齢者や基礎疾患をお持ちの方、妊婦さんに会いに行くことは控えましょう。
- ・石鹸で手をよく洗いましょう。こまめに手指消毒を行いましょう。
- ・お肉には、腸管出血性大腸菌やサルモネラなどの細菌が付着していたり、ヒトに害を与えるウイルスや寄生虫に感染していたりする場合があります。よく焼いて食べましょう。
- ・蚊やマダニは感染症を媒介することがあります。刺されないように、長袖・長ズボンを着用し、虫よけ剤を使用しましょう。
- ・十分な睡眠と栄養バランスの良い食事をとり、体力づくりをしましょう。

